

令和8年度 京都国立博物館

第93回 夏期講座のご案内

テーマ 国宝再考Ⅱ

7/24 FRI
25 SAT

国宝とは「重要文化財のうち世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいなき国民の宝たるもの」と文化財保護法の条文はうたいます。国宝とは何か、さまざまな切り口から考える講座を昨年に引き続き開催します。

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 会期 | 令和8年7月24日(金)、7月25日(土) |
| 会場 | 京都国立博物館 平成知新館 講堂 |
| 定員 | 200名(事前申込制・先着順) |
| 受講料 | 3,000円 テキスト代、2日間の名品ギャラリー(平常展示)の観覧料を含む |

必ず
裏面をご確認
ください

24 金

【9時30分～9時55分】

受付

【9時55分～10時00分】

開会の挨拶 西井 知紀(京都国立博物館 副館長)

第1講 【10時～11時30分】

金工の国宝

末兼 俊彦(京都国立博物館 主任研究員)

第2講 【13時～14時30分】

陶磁の国宝 一器が映した日本の美一

降矢 哲男(京都国立博物館 工芸室長)

第3講 【14時45分～16時15分】

世界遺産シリア・パルミラの現状

西藤 清秀氏

(奈良県立橿原考古学研究所 技術アドバイザー)

25 土

第1講 【10時～11時30分】

韓国の石仏と石塔

水野 さや氏(金沢大学人間社会研究域 人文学系 教授)

第2講 【13時～14時30分】

染織の国宝 一祈りを荘厳する一

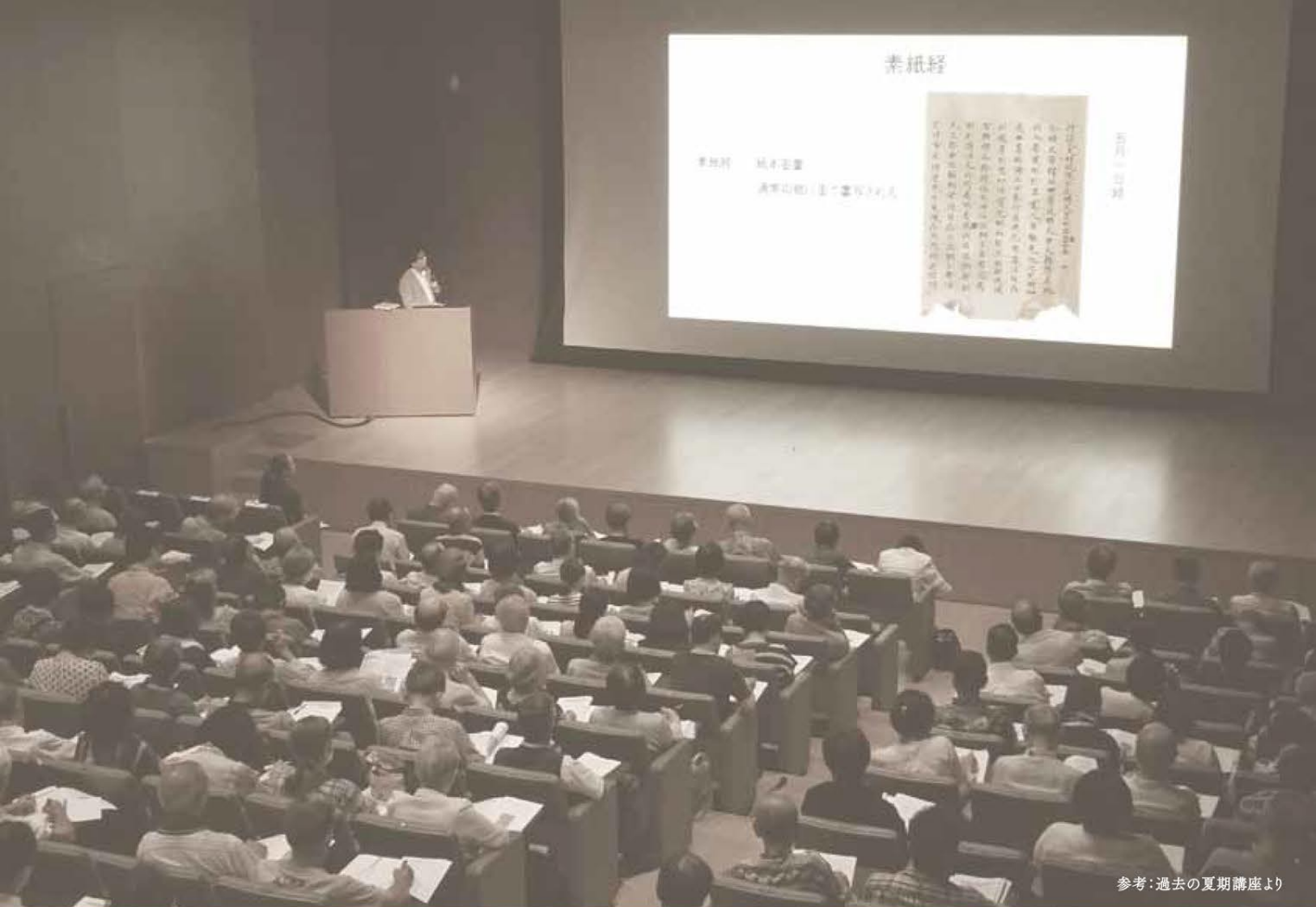
山内 麻衣子(京都国立博物館 調査・国際連携室長)

第3講 【14時45分～16時15分】

国宝 源氏物語絵巻 一美の深層を読み解く一

吉川 美穂氏(徳川美術館 学芸部 副部長)

※プログラムの内容は都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



参考：過去の夏期講座より

KYOTO NATIONAL MUSEUM

申込方法

先着順です。申込締切日までにお申込みください。

2026年5月12日(火)10時より申込を開始します。

京都国立博物館ウェブサイトの「夏期講座」ページをよく読んでお申込みください。

自動返信にて受講料(3,000円)の振込先等、詳細をお知らせします。

https://www.kyohaku.go.jp/jp/events/sum/2026_sum/



申込締切

6/14(日) 定員に達した場合は締切日以前であっても受付を終了します。

- ・当館ウェブサイトとその旨を掲示します。
- ・キャンセル待ちや、開催当日の受付は行いません。

お問い合わせ先

TEL **075-531-7716**

(平日 9:30~12:00、13:00~16:30)
京都国立博物館 教育室



京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM